

令和4年度 京都市予算案 事業概要

消防局

事務事業名	消防指令センター共同運用に向けた基本調査		
予算額	13,502 千円	新規・充実・継続の別	新規
担当課	総務部 総務課(212-6635)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>総務省消防庁では、多様化する災害や社会環境の変化に的確に対応し、必要な消防力を確保するため、「市町村の消防の連携・協力に関する指針」を平成30年4月改定し、高機能消防指令センター（以下「指令センター」という。）の共同運用をはじめとした消防の連携・協力を推進している。</p> <p>上記指針の改正を踏まえ、京都府は令和3年7月に「京都府消防体制の整備推進計画」を改定し、指令センターの共同運用を優先取組事項の一つに掲げ、安心・安全を守る消防力の確保に向け、将来を見据えた消防体制の整備に取り組んでいる。</p> <p>これを受け、京都市及び京都府南部地域8消防本部の消防長並びに京都府からなる「京都府南部消防指令センター共同運用検討会」を令和3年11月に立ち上げ、共同運用に向けた検討を開始した。</p>			
<p>[事業概要]</p> <p>京都市・京都府南部地域8消防本部の計9消防本部の指令センターを共同化し、消防指令業務の効果的な運用を目指すことで、消防力の充実・強化を図る。</p> <p>令和4年度は、共同運用の実現に向けて、新たな指令システムの構成や運用方法、消防本部ごとの負担のあり方などを検討するに当たり、必要となる調査を実施する。</p> <p>(主な調査内容)</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 将来にわたって持続可能な指令管制を実現するとともに、より効果的な活動を可能にするため、先進的かつ効率的なシステム設計と運用方法について調査。 (2) 指令センター共同運用開始時の指令管制の安定的運用や、消防本部ごとの負担のあり方など、共同運用に向けて必要となる課題の抽出及び整理。 			
<p>[参 考 (他都市の状況・事業効果など)]</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 京都府内中・北部の状況 <ul style="list-style-type: none"> 中・北部消防指令センターの共同運用に向けた取組を推進 (令和6年度運用開始予定) (2) 事業効果 <ul style="list-style-type: none"> ・消防の連携・協力の推進による災害対応能力の向上 ・指令センターの効率的運用 			